一人ひとりが担当を終えても、チームの仕事が進まないのはなぜか？



仕事を受け取る相手が、次に何を決め、何を始めるのか。
その仕事を進められる状態まで考えると、渡すものが変わります。

相手の仕事が進んだかを、次の仕事に生かす

仕事を渡す人
相手が判断するための
情報や条件をそろえる

→

受け取って使う人
決められる範囲を知り、
判断して仕事を進める

→

その先の人
必要なものが届き、
予定を決め、動き出す

受け取った人が、できたことと残った仕事を伝える

リーダーは、チームとして「どこまでできたら完了か」を決める

実際に進んだことと残った仕事を見て、誰がどこまで判断するか、
準備や判断にかかる仕事を誰がいつ担うかを見直します。

準備の手間とその後の待ち時間を見比べ、担当が替わっても続く手順にします。